

つちおと

平成30年7月25日発行
宮城復興局気仙沼支所気仙沼市笹が陣3-5
気仙沼市シルバー人材センター内

7/1㊦

～JR気仙沼線BRT『志津川中央団地駅』が開業!～

7月1日、新しく開業したJR気仙沼線BRT※『志津川中央団地駅』のオープニングセレモニーが開催されました。同セレモニーには、南三陸町長ほか多くの地域関係者が参加され、地域の方々の期待の高さがうかがわれました。今回のダイヤ改正では新駅開業の他、志津川駅～清水浜駅間のルート変更等、より利便性が向上致しました。

※BRT(Bus Rapid Transit:バス高速輸送システム)



7/3㊦

気仙沼市 平成30年度ILCセミナー
～ 地元企業の参入や新産業
創出に期待 ～

ILC※の東北への誘致が実現した場合、気仙沼市としては、地元企業の関連産業への参入及び新産業の創出、国内外から集まる各分野における関係者の受け入れ態勢の整備などに向けた役割が期待されております。

気仙沼市と市国際リニアコライダー推進協議会では、ILCの理解促進及び情報提供に係る事業として、本年度は、「ILCの現状と地域産業の役割」、「加速器関連産業への参入に向けて」と題してのセミナーを開催し、募集定員の80人が聴講、ILCの建設予定地である北上山地に大いに期待を寄せる思いが伝わるセミナーとなりました。



※ILC(International Linear Collider: 国際リニアコライダー)

開催日

7/6㊦7㊦

第7回
気仙沼バル

7月6、7日、第7回気仙沼バルが開催されました!! 気仙沼バルは参加店舗を「はしご」するグルメイベントで、スローフード都市、気仙沼の美味しい海の幸・山の幸を飲んで食べて語り合う場を作りたい、との第1回目から変わらぬ願いが込められています。当日は大勢の人々でにぎわいました。



6/24^日

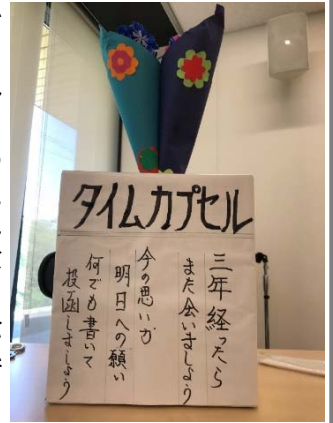
～ 南三陸町『平成の森団地』のタイムカプセル ～ ～ 込められたメッセージ



6月24日、仮設住宅「平成の森団地」を出られた住民が近くの公民館に集まり、約3年前に置かれたタイムカプセルに入れた仲間や自分に宛てた手紙を開けました。

タイムカプセルは、当時の自治会長だった畠山扶美夫さんが、転出する人が増えてきた2015年2月に「生活が落ち着く3年後に開けて同窓会をしよう」と投函を呼び掛け、集会所に置いた手作りの箱です。

当日は、約60人の元住民や支援者が集い、近況を報告するとともに元気な姿での再会を喜び合いました。



7/11^水

～ 気仙沼市 みらい造船にて『第8千代丸』が進水!! ～

7月11日、山代水産所有でサンマ棒受網船第8千代丸の進水式が、気仙沼市浪板のみらい造船吉田工場で漁業関係約100人が参加し盛大に行われました。



みらい造船は被災した造船所4社等が今年4月に合併した会社です。第8千代丸は、総トン数199t、全長38.2m、全幅7.5mで省エネにも配慮した最新鋭の設備を備え、来月20日に解禁される今シーズンのサンマ漁から操業を開始することになっており、気仙沼市の主要魚種であるサンマの豊漁に期待するものです。

7/14^土

～ 南三陸町「サンオーレそではま海水浴場」～ ～ が海開き!

7月14日、南三陸町の「サンオーレそではま海水浴場」で海開きが行われました。1999年にオープンした同海水浴場は、震災で利用できない状態となってしまいましたが、復旧工事により2017年夏、震災以降7年ぶりにオープンし、今年で2年目を迎えました。海開きの当日は天気もよく、家族連れや観光客でにぎわいました。開設期間である8月26日まで、多くの人々の来場が期待されます。



～ 進む震災復興【三陸沿岸道路 本吉気仙沼道路（Ⅱ期）】～

三陸沿岸道路は仙台から八戸まで延長約359kmの自動車専用道路で、東日本大震災後の平成23年11月に全線事業化されました。

本吉気仙沼道路（Ⅱ期）は、全線事業化前の平成23年4月に、震災後事業化された路線です。

国道346号と国道45号の交差点付近を起点とし、大谷海岸ICを終点とする、延長約4kmの2車線の自動車専用道路です。



東日本大震災では、併走する国道45号が津波により浸水しましたが、本吉気仙沼道路は津波浸水区域を回避できることから、災害時にも緊急輸送路として機能する信頼性の高い交通ネットワークが確保されます。

三陸沿岸道路が全線整備されることにより仙台－気仙沼間の所要時間は2時間余りとなります。仙台方面からのアクセス性が向上し、交流人口の拡大や滞在時間の拡大、日帰り観光圏の拡大など観光の活性化も期待されております。

主な構造物として2つの橋梁（本線橋）が計画されている他、三陸道により分断される市道等9箇所には、三陸道を跨ぐように新たな橋（オーバブリッジ）が架けられます。現在2つの本線橋は完成しており、オーバブリッジも9橋が完成済みです。約90万m³の切土を行い盛土に利用する他、残った土は大谷海岸背後地の嵩上げに供給するなど、まちづくりにも貢献しております。

完成している本線橋



工事は今年度内の供用を目指し、九州地方整備局より応援に来て頂いている仙台河川国道事務所荒木監督官のもと進められております。今回はその荒木監督官よりお話を頂きました。

『私で九州からの復興支援は三代目で5年目に突入しますが、これまで九州の先輩方は供用遅延することなく、地域の復興支援にご尽力されてきました。私も諸先輩方を見習い、着実にそしてスピーディに事業を進めて行きたいと思います。』とお話を頂きました。九州地方より気仙沼地域の復興にご尽力頂きありがとうございます。

◆支所長コラム

梅雨が明けました！！ 平年に比べ11日早いとのことで嬉しいかぎりです。昨年は、梅雨明け後にジメジメした日が続き、復興交付金を活用して再開した「サンオーレそではま」も天候不順により入り込み数が伸び悩んだ記憶があります。今年は賑わいを取り戻してほしいです！！

さて2020年に開催される東京五輪では、ギリシャで採火した火種を「復興の火」として、聖火リレー前に被災3県に展示するようです。復興に向け、大きな力になってくれることを願います。

明るい話題がある一方で、6月28日以降西日本に記録的な豪雨をもたらした「平成30年7月豪雨」は、平成で最悪の豪雨災害になるようです。被災地の方々が、一日も早く元の生活を取り戻せることを祈ります。（吉）

6/27[※]

～ 第21回復興交付金可能額通知 ～

5月中旬に被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対して、6月27日に復興庁から交付可能額の通知を行いました。

気仙沼市については、内湾地区海上遊歩道整備事業（浮見堂遊歩道）に約1億6百万円でした。なお、南三陸町からの申請は事業間流用のみでした。

これまで、平成23年から21回にわたって復興交付金の交付可能額通知を行っています。気仙沼市は合計事業費で約3,647億円、南三陸町は約1,423億円が配分されています。



現在の浮御堂遊歩道
(気仙沼市)

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【8月5日（日）】 第7回歌津復興夏まつり2018 ～南三陸町～

南三陸ハマレ歌津特設会場にて歌津復興夏祭りが開催されます。

ポストくんパレード、スポーツめんこ大会「デングリー」in歌津、マドロス踊り、町民カラオケ大会が行われる予定で、夜には南三陸夢メッセージ花火が打ち上げられます。

歌津復興夏まつり実行委員会 事務局 0226-36-3117

【8月4日（土）、5日（日）】 第67回気仙沼みなとまつり ～気仙沼市～

4日は田中前大通りにてオープニングセレモニー、はまらいんや踊り。5日は内湾・港町臨港道路に会場を移し、打ちばやし大競演や海上うんづら、海上打ち上げ花火などが行われます。

気仙沼みなとまつり委員会 事務局/気仙沼商工会議所 0226-22-4600 <http://kesenuma.or.jp/minatomatsuri/>



てサ 綺 梅 6
いイ 麗 雨 月
た が に 空 下
よ 咲 ア の 旬
。 い ジ 下 の



気仙沼市松崎外ヶ沢

これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

復興庁HP (<http://www.reconstruction.go.jp/>) ⇒ 宮城復興局 ⇒ 気仙沼支所だより「つちおと」

【編集後記】

◆(はじめめ付きですが、)暖かくなってきました！寝ている間に布団をはじめてしまい、明け方に寒くて目を覚まします。

「つちおと」発行元(お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301、FAX 0226-23-5310